

ドル・ユーロとドル・ポンド  
—— 国際通貨の unit of account 機能の観点から

日本銀行金融研究所 畑瀬 真理子

近年、ドル、ユーロ等の特定の通貨について、「国際通貨」としての役割の観点から、将来展望に関する議論が活発に行われている。本報告では、Cohen (1971)、Krugman(1984)等によって定義された「国際通貨」の機能のうち、計算単位 (unit of account) の機能の観点から、ドル、ユーロ、ポンドの現状および歴史について考察し、将来を展望する手がかりとしたい。具体的には、公的部門におけるペッグ制採用国の基準通貨の現状を概観するとともに、基準通貨の選択に影響を与える要因について、事例を通じて考察する。また、民間部門における契約通貨について、歴史的事例を通じて考察する。

<参考文献>

Cohen, Benjamin J. (1971), *The future of Sterling as an International Currency*, Macmillan.

Krugman, Paul (1984), "The International Role of the Dollar: Theory and Prospect," in Bilson, John F. and Richard C. Marston (eds), *Exchange Rate Theory and Practice*, University of Chicago Press.